

取扱説明書

はじめに	1
使用上のご注意	5
車椅子のお手入れ方法	5
車椅子の保守・点検	5
保管について	5
各部名称	6
お使いになる前に	7
同梱品について	8
車椅子の安全な使い方	8
車椅子の広げ方・乗り方	8
車椅子の折りたたみ方・降り方	9
自走用車椅子の安全な動かし方	10
ブレーキの使用方法	10
ブレーキの調整について	12
各種車椅子の機能・取扱方法について	13
※該当機種をご確認ください。	
フットサポートの高さ調整について	13
W（ウォッシュャブル）シート機能について	14
ハピネスコンパクト 脚部の取り付け方法	15
ハピネスコンパクト 足こぎでの使用方法について	16
転倒防止バーについて	17
介助ブレーキ手元駐車ロック機能について	17
肘掛け跳ねあげ機能について	18
脚部スイングアウト機能について	19
脚部3段階調節機能について	19
よくある質問	20

ご使用になる前に必ずお読みください。
読了後は大切に保管してください。

※本書はケアテックジャパンの車椅子、全商品共通の取扱説明書です。
そのため使用されている写真は代表的な物を使用しております。
※製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。



はじめに

この度はお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書では、ご利用者や介助者、他の方への危害・物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

表示と記号の意味をよく理解した上で本文をお読みください。

また、ご利用者や介助者が安全に正しくご使用していただくために、必要な注意事項や正しい使い方が説明してあります。ご使用になる前に必ずお読みください。

※裏表紙に保証書が付いておりますので、紛失しないように大切に保管してください。

警告

取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。

■ご使用前には必ず各部を点検してください。

故障・異常のあるときは、直ちにご使用を中止し、販売店へご連絡ください。

故障箇所・異常箇所を放置したまま使用すると、転倒・転落事故等の原因となり大変危険です。

■改造・分解・シートの加工を行わないでください。

安全性の低下、また強度や耐久性が低下し大変危険です。

また、事故につながる恐れがありますので絶対に改造・分解しないでください。

■車椅子に乗り降りの際および停止時には、必ず両輪の駐車ブレーキをかけ車椅子を固定させてください。

駐車ブレーキがかかっていると車椅子が動き、衝突やご利用者の転倒事故につながる恐れがあります。

■駐車ブレーキのレバーは作動方向以外に力を加えないでください。また、必要以上に力を加えないでください。

作動方向以外に無理に力を加えると、駐車ブレーキが変形・破損する恐れがあります。

また、足等で操作すると駐車ブレーキが破損する恐れがありますので、必ず手で操作してください。

■車椅子に乗り降りの際は、決してフットサポートの上に足を乗せないでください。

フットサポートの上に足を乗せたまま乗り降りすると、バランスを崩し車椅子ごと転倒する恐れがあり大変危険です。また車椅子が破損する恐れがありますので、必ずフットサポートをあげ、地面に足をつけた状態で乗り降りしてください。

■タイヤを持って車椅子を操作しないでください。

スポークや駐車ブレーキで手や指をはさむ等、大変危険です。



■車輪が回転しているときは、スポークに手や指を差し込まないでください。

手や指をはさんで、ケガをする原因となり大変危険です。

■傘や荷物等を持って、片手で走行しないでください。

傘をさしながら、また片手に荷物を持ちながらの片手操作ではバランスを崩す原因になります。

両手で操作し、バランスを保ちながらゆっくりと走行してください。

■急発進、急停車、急な方向転換をしないでください。スピードを出さないでください。

車椅子は歩行者として扱われます。歩行者としての交通ルールを守り、安全に走行しましょう。

■耐荷重を守ってご使用ください。

耐荷重は、積載物も含んだ重さです。

■バックサポートを背折れしたまま使用しないでください。

後方への転倒、また背折れ金具でケガをする可能性があり大変危険です。

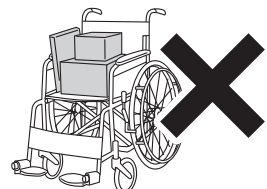
■複数人で乗らないでください。

この車椅子は1人用です。2人以上で乗ると破損・事故の原因になり大変危険です。

■車椅子以外の目的に使用しないでください。

シルバーカーとして使用したり、物品運搬・踏み台等に使用しないでください。

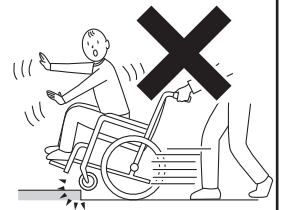
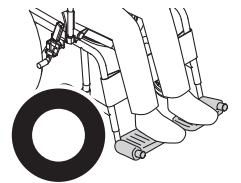
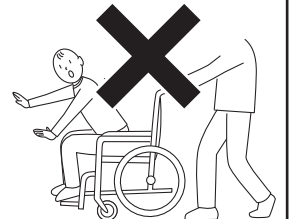
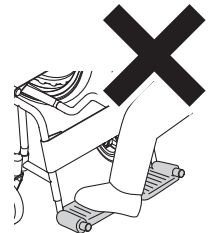
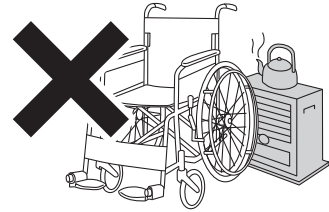
また絶対に車椅子の上に立ちあがらないでください。



警告

取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。

- 背ポケットに 1 kg 以上の重い物を入れしないでください。
過度の荷物はバランスを崩し危険です。
また、背折れ部・ブレーキ等の操作レバーに荷物を吊り上げるとバランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となり大変危険です。
- 車椅子を投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。
フレームの歪み・破損・故障の原因となります。
安心して長くご使用いただくためにも、丁寧にお取り扱いください。
- 車椅子を火気に近付けたり、高温になる場所に放置しないでください。
シート部が燃え火災の原因となります。
またタイヤや、プラスチック等の変形、熱くなった金属部分でやけどする等の恐れがあります。
- シート以外の部分に腰かけしないでください。また、シートの上で立ちあがらないでください。
転倒・転落事故等の原因となり大変危険です。
- 小さなお子に使用させたり遊ばせたりしないでください。
- 分解・修理・改造は行わないでください。
- 介助ブレーキ、駐車ブレーキの利き具合を必ず確認してください。
- 車椅子に乗り降りするとき、一時停止するときには、平らな場所で必ず左右の駐車ブレーキをかけ、車椅子が固定されていることを確認してください。
必ずフットサポートをあげてから乗り降りしてください。
フットサポートの上に立つと、車椅子ごと転倒する恐れがあり大変危険です。
- 立ち座りは、ゆっくりと行ってください。
勢いよく立ちあがったり座ったりすると、バランスを崩して転倒する恐れがあります。
- 走行中に身体を乗り出さないでください。また、身体を大きく前傾させないでください。
バランスを崩して車椅子ごと転倒する恐れがあり、大変危険です。
段差や凹凸のある路面を走行する際も、身体が前のめりにならないように注意してください。
- 傾斜地・坂道での走行は特にご注意ください。
傾斜地や坂道では、車椅子が予想外の方向に進む、スピードが出やすい等大変危険です。
ご利用者が車椅子からずり落ちる、前へ倒れる等、非常に不安定になり危険です。
- 走行中は必ず足をフットサポートの上に乗せ、落ちないようにしてください。
足を地面につけたりフットサポートからはずすと、フットサポートと地面の間に足が巻き込まれて、ケガをする恐れがあり危険です。
ご利用者が靴をはいていない場合は、壁などに当たらないよう十分に注意してください。
- 大きな段差を無理に乗り越えようとししないでください。階段を走行しないでください。
エレベーターやスロープなどをご利用ください。スピードをつけて段差を乗り越えようとすると、ご利用者が車椅子から転落し事故になる恐れがあります。
また、背折れ部などのフレームおよびキャストの損傷を受ける場合があります。
段差の前では一旦停止して、必ずティッピングレバーを利用して乗り越えてください。
- 介助者は、車椅子の操作方法をよく理解し、取り扱いに十分慣れた状態で介助をしてください。

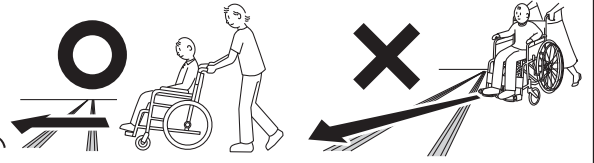


▲注 意

取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。

■車椅子は歩行者として扱われます。道路通行の際は必ず右側を通行してください。また歩道を通行してください。段差や凹凸のある路面等を走行するときには、特にご注意ください。

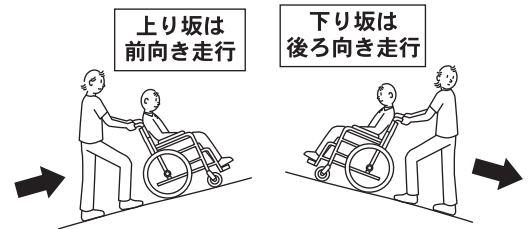
■側溝の格子蓋や踏切の横断・エレベーターの乗り降りの際は、車輪を溝・レールに対して直角にして、必ず介助者と一緒に渡ってください。斜めの角度で進入すると溝・レールにはまる恐れがあり危険です。必ず介助者に援助をお願いしてください。



■坂道の上り下りや段差のある場所では、必ず介助者に支えてもらい走行してください。

坂道や段差を上るときは前向きに、下るときは後方に注意しながら後ろ向きに、ゆっくり走行してください。

坂道や段差を前向きで下ると、ご利用者が前へずり落ちる、前のめりとなり転倒・転落事故等の原因となる、スピードが出やすい等、非常に不安定になり危険です。また、介助者がバランスを失ったときも危険です。



■転倒防止バー付属機種についてのご注意

転倒防止バーはあくまでも後方への転倒を防ぐものです。常時接地させたり過度な負荷はかけないでください。破損する恐れがあります。また、バランスを崩し転倒につながる恐れがあります。

■傾斜地・坂道で車椅子を駐車しないでください。

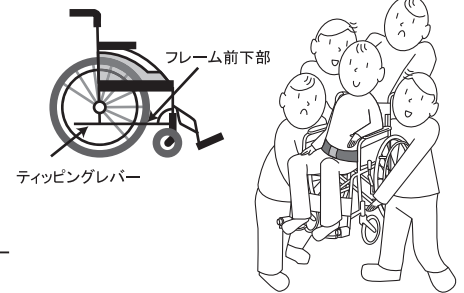
駐車ブレーキを使用しても車椅子が動く場合があり、転倒等の事故につながる恐れがあります。車椅子の駐車は水平で平坦な場所で行ってください。



■車椅子の機能と操作をよく理解し、慣れた状態で介助を行ってください。また、ご利用者の心身の状況・症状を十分考慮し、適切な介助を行ってください。

■車椅子を運ぶ際は、駐車ブレーキをかけ、本体フレームをしっかり支えて持ってください。アームサポート、脚部部分、シート、手押しハンドル等を持つと、製品の破損や部品がはずれて事故に繋がる恐れがあります。

■ご利用者が乗ったまま持ち上げる場合は、安全ベルトをしっかり締め、ご利用者の上半身を支え、3人以上で車椅子のフレーム前下部とティッピングレバーを持ち、しっかりと支えて持ち上げてください。その際、ご利用者の身体を掴むなどの行為は危険ですのでおやめください。



■次のような場所では走行を避けてください。事故や転落の恐れがあります。
・交通量の多い道路 ・砂利道 ・凹凸のある道 ・階段 ・エスカレーター
・ぬかるみ ・雪道 ・凍結路 ・防止柵のない側溝や路肩付近等
・崖 ・川土手 ・海岸防波堤上 ・その他 危険な場所


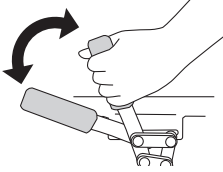
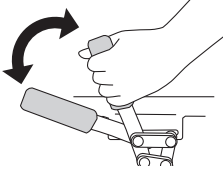
■次のような状況下では走行を避けてください。事故や転落の恐れがあります。
・夜間 ・雨天 ・濃霧 ・強風 ・その他 危険が予想される場合
夜間は側溝や障害物等が発見しにくくなり危険です。雨天は路面が滑りやすくなり危険です。

■次のような場所では厳重な注意が必要です。事故や転落につながる恐れがあります。介助者が付き添い、ご利用者の身体を支える等注意しながらご使用ください。
・狭い道 ・踏切 ・横断歩道 ・駅のホーム ・エレベーター
・車椅子対応の動く歩道 ・車椅子対応の福祉車両 ・その他 危険が予想される場所

■安全ベルト付属機種は安全ベルトを締めてください。身体が安定しない方は、安全ベルトの着用をおすすめします。段差等で不意に衝撃を受けると身体が投げ出されることがあり危険です。また、安全ベルトをはずしたまま移動すると安全ベルトが車輪にからまる等危険ですのでおやめください。

▲注意

取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。

- 車椅子にバリ等がないか確認してください。衝突等により、金属・樹脂部にバリ等が発生することがあります。ケガの原因となりますので、十分ご注意ください。
- 認知症の方がご使用される場合は、必ず介助者が付き添ってください。駐車ブレーキを解除してしまうなど、その他思わぬ事故につながる恐れがありますので、十分ご注意ください。
- 車椅子を使用中は、安定した姿勢を保ってください。シートの中央に深く腰かけ、また左右にかたよらずに座ってください。
- 使用中は常に、ご利用者の姿勢や状態に注意をはらってください。ご利用者の身体の一部または衣服が、後輪・スポーク・キャストなどにはさまらないように、また地面・建物・通行者などに触れないように注意してください。
- 介助者は、ご利用者が車椅子に安定した姿勢で安全に座れていることを確認してから操作してください。
- 車椅子に乗って介助しないでください。
- 靴をはかずに足をフットサポートに乗せて使用する場合は十分ご注意ください。壁や柱で足をケガする、足がフットサポートから落ちて骨折する等、大変危険です。
- 発進するときや段差を乗り越えるときには、キャストがまっすぐになっていることを確認してから走行してください。キャストが斜めになった状態で発進したり、段差に斜めに進入すると、段差を乗り越えられなかったり、キャストが破損して事故の原因となることがあります。
- 手押しハンドルやバックサポート、背折れ金具、駐車ブレーキなどの操作レバーに重い荷物を吊りさげないでください。転倒したり、部品が変形・破損することがあります。
- 駐車ブレーキは必ず手で操作してください。また、作動方向以外に力を加えないでください。部品が変形・破損することがあります。
- 片手のみで操作しないでください。バランスを崩すことがあり危険です。
- ご使用前には、毎回必ず各部を点検してください。→「お使いになる前に」(P7)参照。異常が見つかった場合は、すぐに使用を中止し、販売店へご連絡ください。
- 飛行機にご搭乗される場合のご注意
車椅子をご旅行先へ持って行かれる場合は、事前に利用予定航空会社または旅行代理店にご相談ください。事前確認なしに空港へ行きますと、航空会社の確認業務に時間がかかる場合がございます。お早目の手続きでスムーズなご旅行をお楽しみください。
- 必ず道路交通法規を守ってください。道路交通法規を守らず使用すると、交通事故の原因となったり、本製品の保証範囲外となる場合があります。
- 以下のような場所には放置しないでください。
 - ・車道に近いところ ・人通りのあるところ ・路面に段差や凹凸のあるところ ・傾斜地 ・坂道
 - ・湿気の多いところ ・ほこりの多いところ ・海沿いの屋外(潮風のあたるところ) ・雨、風のあたるところ
 - ・暑い日や寒い日の戸外 ・直射日光のあたるところ(車内も含む) ・非常口、消火器、消火栓の前やそば
 - ・ストーブ等火気を使用し高温になる場所 ・子供がいたずらをする恐れがある場所

※以上の警告・注意点以外であっても、無理な使用はお控えください。事故や破損の原因になります。

※製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がございますので、お手元の車椅子と本書記載の車椅子とデザイン等が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

※廃棄する際は、お住いの各自治体の指示に従って、処分・破棄してください。

使用上のご注意

車椅子のお手入れ方法

<金属部分（フレーム、車輪等）>

- ・フレーム等の金属部は、乾いた布もしくは強くしぼった濡れタオルでよく汚れを落として、乾いた布で拭き取ってください。
- ・スポークの通常のお手入れは、水を用いずに汚れを落とす程度で十分です。
- ・凹凸のある部分の汚れ、頑固にこびりついた汚れは、市販の中性洗剤をご使用ください。

<樹脂（プラスチック）部>

- ・水拭きのあと、乾拭きしてください。
- ・ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後水拭きで洗剤を落としてから乾拭きしてください。

<シート類>

- ・シート部分をぬるま湯で拭き、きれいな水で仕上げ拭きを行い、乾かしてください。

汚れがひどい時

- ・汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取り、その後、水で濡らした布で洗剤を拭き取ってください。
- ・しみは、スポンジまたは柔らかいブラシを用いて取り除いてください。
- ・洗う場合は、ぬるま湯で手洗いしてください。洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。

<注意事項>

- ・熱湯やオゾンで洗浄しないでください…故障・変質・変色の原因となります。
- ・中性洗剤以外を使用しないでください…中性洗剤以外を使用した場合、変質・変色・傷みの原因となります。
- ・揮発性剤（シンナー・ベンジン・アルコール類）は使用しないでください…変質・変色・劣化・傷みの原因となります。
- ・たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください…傷みの原因となります。
- ・ホース等で直接水をかけないでください…車輪およびフレーム内部・ブレーキ部に水滴が残り、錆の原因となります。

車椅子の保守・点検

1ヶ月に1度は安全点検を行ってください。

<タイヤ> タイヤの溝は十分認識できるか、変形やひび割れがないか

<各種ブレーキ> 正しく停止するかどうか、調整は適切かどうか

<車椅子本体> 異音が発生しないか、まっすぐ進むか、四点接地しているか、きちんと折りたためるか

<シート> 著しい破損やたるみ、傷みがないか

<ネジ> 緩みはないか

<ブレーキワイヤー> 錆、ほつれ、ゆるみ、切れていないか（介助ブレーキのないものは除く）

<ハンドリム、後輪、キャスト > しっかり固定されているか

異常がございましたら、直ちにご使用をお止め頂き、お買い上げの販売店までご連絡ください。

保管について

屋内で保管してください。また、長期間使用しないときは、汚れを落としてから保管してください。雨ざらしになる場所、また高温多湿な場所では保管しないでください。故障や錆・変形の原因となります。

下記のようなところに車椅子や部品を放置しないでください。事故や錆・破損の原因になります。

- ・車道に近いところ ・人通りのあるところ ・路面に段差や凹凸のあるところ ・傾斜地 ・坂道
- ・湿気の多いところ ・ほこりの多いところ ・海沿いの屋外（潮風のあたるところ） ・雨、風のあたるところ
- ・暑い日や寒い日の戸外 ・直射日光のあたるところ（車内も含む） ・非常口、消火器、消火栓の前やそば
- ・ストーブ等火気を使用し高温になる場所 ・子供がいたずらをする恐れがある場所



弊社ホームページの“車椅子のメンテナンス関連ページ”(<https://care-tec.jp/tag/wheelchairmaintenance/>)にて、さらに詳しい内容やカラーで分かりやすい写真を掲載しております。併せてご確認ください。最新情報なども更新しております。
(カメラ機能付きのスマートフォンなどで左記のQRコードを読み込むとホームページに接続できます。別途通信料がかかります)

各部名称



◎各種車椅子の機能・取扱方法については P13～をご確認ください。

※製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がございますので、お手元の車椅子と本書記載の車椅子とデザイン等が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
※全商品共通の取扱説明書のため、使用されている写真は代表的な物を使用しております。

①	バックサポート	背の支持装置。背もたれ。背シート。	Wシートの装着方法 P14
②	アームサポート	腕の支持装置。肘掛け。	
③	サイドガード	衣類が車輪に巻き込まれたりすることを防ぐ板のガード。	
④	シート	座(でん部・大腿部)の支持装置。座面。座シート。	Wシートの装着方法 P14
⑤	フット・レッグサポート	下腿・足部の支持装置。脚部。	
⑥	レッグサポート	下腿の支持装置。脚ベルト。	レッグサポートの装着方法 P14
⑦	駐车用ブレーキ	車椅子を停止させておくためのブレーキ。	駐車ブレーキの使用法 P10
⑧	キャスタ	自由に方向が変わる小車輪。前輪。	
⑨	フットサポート	足部の支持装置。ステップ板。	
⑩	背折れ金具	バックサポートを折りたたむための部品。	広げ方、折りたたみ方 P8～
⑪	ハンドリム ※1	手で操作して駆動輪を回転させるための輪。	自走用車椅子の安全な動かし方 P10
⑫	背ポケット	背面に取り付けられた小物入れ。同梱品の調整用工具(六角レンチ等)や小さな部品が入っています。	
⑬	手押しハンドル	車椅子を後方から押すときなどに使用する取っ手。	
⑭	制動用ブレーキ ※2	車椅子を制動するためのブレーキ。介助ブレーキ。	介助ブレーキの使用法 P11
⑮	駆動輪 / 主輪	自走用車椅子の駆動用車輪。また介助用車椅子の主車輪。後輪。	
⑯	ティッピングレバー	段差を越える際、介助者が車椅子の前輪上げをするときに踏むためのレバー。	

お使いになる前に

全ての車椅子は工場出荷時に点検・調整済みですが、運送時の振動等により調整に狂いが生じる場合があります。安全のため、車椅子を使用する前に各部の点検・簡易動作チェックを必ず行ってください。点検・調整が不十分のまま走行すると、車体の破損・事故につながる恐れがあります。異常が見つかった場合は、すぐに使用を中止し、販売店へご連絡ください。

<装着品の確認>

- ・バックサポート、シートは、しっかりと固定されていますか？
- ・背折れ金具は、しっかりと固定されていますか？
- ・アームサポートは、しっかりと固定されていますか？
- ・レッグサポートは、しっかりと取り付けていますか？

<ブレーキの確認>

- ・駐車用ブレーキおよび制動用ブレーキが正しく作動しますか？
- ・ブレーキをかけた状態で後輪が回転しませんか？
- ・駐車用ブレーキおよび制動用ブレーキをかけたときには、後輪の回転がしっかりと止まりますか？
- ・解除の際は後輪がスムーズに回転しますか？

<シートの確認>

- ・シートにキズやたるみはありませんか？

<バックサポートの確認>

- ・バックサポートにキズやたるみはありませんか？
- ・左右のロックピンが確実に穴の中に入っていて、背折れ部分がしっかりと固定されていますか？

<アームサポートの確認>

- ・キズや亀裂等はありませんか？
- ・ガタつきがなく、車体にしっかりと固定されていますか？

<介助者へ>

- ・長期間の使用や使用頻度によっては、キャスト、後輪、フット・レッグサポート、アームサポート等の劣化がすすむことがあります。使用前点検を必ず行ってください。
- ・異常がある場合は、使用を中止してください。
- ・急な坂道、凹凸や段差のある場所、踏切の横断・エレベーターの乗り降り等の溝のある場所、その他危険が考えられる場所では、必ず介助者が付き添い、ご利用者の身体を支える等転倒防止に努めてください。
- ・車椅子に乗って介助しないでください。
- ・ご利用者の身体の一部および衣服が、タイヤに触れたり、はさまったりしないよう注意してください。
- ・ご利用者の身体の一部および衣服が、建物・通行者および地面に触れたり、はさまったりしないよう注意してください。
- ・重い荷物を車椅子に載せたり、手押しハンドルに提げたりしないでください。
- ・段差を乗り越える場合は、ティッピングレバーを足で踏みながら、同時に手押しハンドルを手前に引くようにしてキャストを上げて進み、乗り越えてください。無理な力による段差の乗り越え等の操作は、フレーム破損や事故の原因になります。

<全体的な確認>

- ・全体にガタつきはありませんか？きちんと折りたためますか？
- ・平らな場所で、左右均等な力で前へ押しただと、まっすぐに進みますか？
- ・各部ボルトやナットが緩んでいませんか？
- ・ワイヤーが部品等に引っかかっていませんか？また、切れていませんか？
- ・車輪は4つとも接地していますか？
- ・異音はしませんか？

<キャスト・後輪の確認>

- ・亀裂や穴・キズはありませんか？また、表面の溝は十分残っていますか？
- ・タイヤは、表面の溝が無くなる前に交換してください。
- ・タイヤに異物が刺さっていませんか？
- ・タイヤが変形していませんか？
- ・ガタつきはありませんか？
- ・ハンドリムに振れ・変形がなく、スポークに曲がりや折れはありませんか？

<フット・レッグサポートの確認>

- ・フットサポートがバタバタしていませんか？
- ・キズや亀裂等はありませんか？
- ・レッグサポートはしっかりと取り付けていますか？
- ・フットサポートの向き・高さは適正ですか？
- ・ガタつきがなく、車体にしっかりと固定されていますか？

警告

- フットサポートの高さは地面より5 cm 以上で使用してください。低すぎると路面の凹凸や障害物にフットサポートが当たり、転倒事故の原因になります。
- ブレーキワイヤーは安全のため定期的に交換しましょう。交換の目安は1年に1度程度です。

5cm以上



注意

- 各部の組み立ては、平坦な場所で駐車ブレーキをかけ、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。

同梱品について

ご使用いただく前に、下記の同梱品が全てそろっていることを確認してください。

背ポケット（車椅子本体の背面部分）に、小さな部品や調整用工具が入っていますので、ご確認ください。

万が一不備等ございましたら、お買い上げ販売店までご連絡ください。

- 車椅子本体
- 取扱説明書(保証書付)
- 調整用工具(六角レンチ等)
- レッグサポート(脚ベルト)
- W(ウォッシュャブル)シート…………… 背もたれ用・座面用 ※ウィッシュ・スマイル以外の全製品
- 転倒防止バー…………… 左右各1つ ※ハピネスプレミアム・コンフォートのみ
- 脚部…………… 左右各1つ ※ハピネスコンパクト・コンフォートのみ
- フレームパイプキャップ…………… 4つ ※ハピネスコンパクトのみ
- 脚部3段階調節部品…………… 左右各1つ ※スマイルのみ

※製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

車椅子の安全な使い方

車椅子の広げ方・乗り方

※ W(ウォッシュャブル)シート機能搭載の機種につきましてはP14のシート装着方法をご確認ください。



① 平坦な場所で駐車ブレーキをかけます。脚部が可動式の機種は跳ねあがっている左右の脚部を下ろします。

② 車椅子の前方または後方に立ち、左右のアームサポートを持って両側に広げます。

③ シートを手で上から下に押し下げます。安全ベルト付属機種は、座面にベルトが絡まっていないか確認して広げてください。



※横を持って広げないでください。手や指をはさんでケガをする恐れがあります。



※バックサポートを広げる際は、背折れ金具を完全にロックしてください。

④ 手押しハンドルを持ちあげて、バックサポートを広げます。

⑤ ご利用者が車椅子に乗車後、フットサポートを下ろしてください。

車椅子の折りたたみ方・降り方



① 平坦な場所で駐車ブレーキをかけ、フットサポートを跳ねあげ、アームサポートを持ち、ゆっくり下車します。



② 背折れ金具のレバーを後方へ引き、手押しハンドル部分を手前に引いて、バックサポートを倒します。



▲ 左右の手押しハンドルを折りたたみ、バックサポートが倒れた状態。



③ シートの前方と後方の中央部を掴み、同時に持ちあげると、左右が閉じます。アームサポートを持ち、押し縮めます。



④ 脚部が折りたたみ可能な製品であればさらにコンパクトに折りたためます。



※ 乗り降りの際は、フットサポートの上に足を乗せないでください。

◎ 車椅子スマイル(CA-70SU・CA-80SU)を折りたたむ場合のご注意



※ 駐車ブレーキを解除して折りたたんでください。ブレーキワイヤーが外れることがあります。

警告

- シートパイプの横や下に手や指を入れないでください。手や指をはさんでケガをする恐れがあります。
- バックサポートを広げる際、背折れ金具が完全に固定されていることを確認してください。ロックされていないと急にバックサポートが倒れ、転倒・転落事故の原因となります。
- 車椅子に乗り降りの際、絶対にフットサポートの上に乗らないでください。車椅子がバランスを崩し、転落事故の原因となります。
- 折りたたむ際に、手押しハンドルを持って左右から押し縮めないでください。
- 車椅子を折りたたむ際は、背ポケットの中に物が入っていないことを確認してください。背ポケットの中の物を破損したり、車椅子の故障の原因となります。

注意

- 周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- 指等をはさまないように注意してください。
- バックサポートを広げた際、背折れ金具のロックピンが確実に穴の中に入っていて、手押しハンドルがしっかりと固定されていることを確認してください。
- 車椅子スマイルを折りたたむ際は、駐車ブレーキをかけたまま折りたたまないでください。介助ブレーキに連動して繋がっているブレーキワイヤーが外れることがあります。
- 車椅子を運ぶ際は、本体フレーム以外を持たないでください。アームサポート、脚部部分、シート、手押しハンドル等を持って運ぶと、製品の破損や事故に繋がる恐れがあります。

自走用車椅子の安全な動かし方



①駐車ブレーキのロックを解除します。



②ハンドリムを握り車輪を回転させ移動します。



※タイヤを握って、
車椅子を操作しな
いでください。

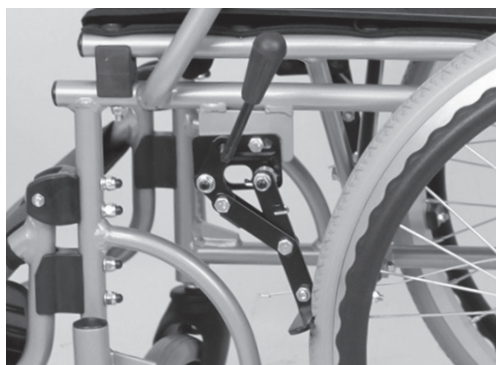


※車輪が回転してい
るときは、スポークに
手や指を差し込ま
ないでください。

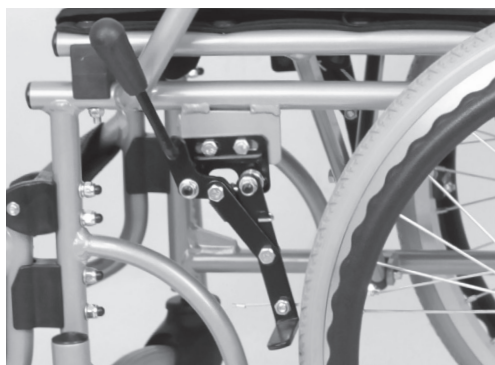
⊘ 警告

- スピードが出ている状態で、素手でハンドリムを握って減速しないでください。摩擦で手にケガをする恐れがあります。
- 走行中、身体を乗り出さないでください。バランスが不安定になり、転倒・転落事故の原因となります。
- 手押しハンドルに重いものを掛けしないでください。車椅子が不安定になり、転落事故の原因となります。

駐車ブレーキの使用方法



①駐車ブレーキを操作しロックをかけます。



②ロックした方向と反対に操作すると解除します。

⊘ 警告

- 車椅子の乗り降りやベッドへの移乗時には、必ずブレーキをかけてください。駐車ブレーキをかけないと車椅子が動き、転倒事故の原因となります。

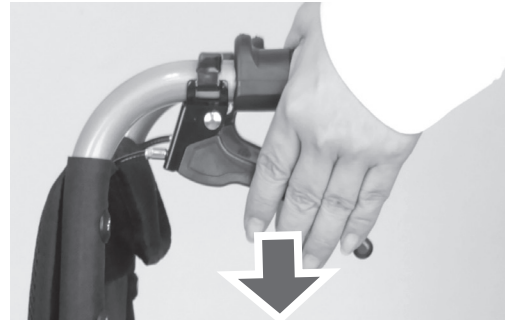
⚠ 注意

- 車椅子に乗り降りするとき、一時停止するときは、必ず左右の駐車ブレーキをかけ、車椅子が固定されていることを確認してください。
- 駐車ブレーキは、車椅子の停車時に車輪を固定するためのものです。走行中には使用しないでください。

介助ブレーキの使用法(介助用・自走介助兼用のみ)



① 介助ブレーキレバーを握るとブレーキがかかります。



② 介助ブレーキレバーを放すと解除します。



- 急ブレーキをかけないでください。車椅子に乗っている方が前方へ転倒する恐れがあります。
- ブレーキは両側同時にかけてください。バランスを崩し転倒事故の原因となります。

介助ブレーキの連動機能について

該当機種



① 車椅子スマイルの介助ブレーキと駐車ブレーキは、ワイヤーで繋がっています。手押しハンドルにある、介助ブレーキレバーを握ります。



② 駐車ブレーキが連動して動き、介助ブレーキレバーを握っている間はタイヤにブレーキがかかっています。



③ 介助ブレーキレバーを放すと、駐車ブレーキが解除します。しっかりと停車する必要がある場合は、駐車ブレーキレバーで操作してください。

▶ 駐車ブレーキの調整方法



▶ 介助ブレーキの調整方法



連動機能を備えた駐車ブレーキ・介助ブレーキの調整方法については、弊社ホームページに記載してあります。
 “駐車ブレーキの調整方法” (<https://care-tec.jp/maintenance/parkingbrake/>)、
 “介助ブレーキの調整方法” (<https://care-tec.jp/maintenance/caretecbrake/>) をご確認ください。
 (カメラ機能付きのスマートフォンなどで左記のQRコードを読み込むとホームページに接続できます。別途通信料がかかります)

・介助にてご使用の場合【車椅子の押し方】

介助者が車椅子の手押しハンドルを握り、進行方向へ押します。

急発進や急停止は、ご利用者の方に不快感を与えます。声をかけてから動くなどの配慮をお願いします。

また、スピードを出しすぎるとご利用者の方に恐怖感を与えることがあります。

事故の原因にもなりますので、ゆっくり操作してください。

屋外で使用する場合、地面が傾いている状況下では傾いている側の手に力を入れて、車椅子が低い方へ曲がらないように押しましょう。段差や坂道の走行は正しい操作で走行しましょう。階段や悪路などでの走行はおやめください。溝や踏切などの走行も正しい操作をし、坂道や踏切などを通行する場合は、必ず介助者は付き添い、ご利用者を支えて走行しましょう。

駐車ブレーキの調整について

該当機種

ハピネス	ハピネス ワイド	ハピネス プレミアム	ハピネス ライト	ハピネス コンパクト	コンフォート	ウィッシュ	スマイル
------	-------------	---------------	-------------	---------------	--------	-------	------



- ① ボルトで2ヶ所固定している部分があります。内側にあるナットをスパナでゆるめると調整できるようになります。
- ② 左右に動かし調整します。タイヤに駐車ブレーキのタイヤ押さえが当たり、タイヤがしっかり止まる位置に調整します。（隙間の目安は10～17mm程度）
- ③ 位置が決まったら、しっかりナットを締め直して固定し、完了です。ブレーキが正常に作動するか確認してください。

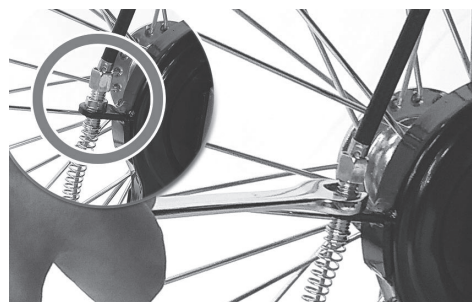
ドラム式ブレーキ（介助ブレーキ）の調整について

該当機種

ハピネス	ハピネス ワイド	ハピネス プレミアム	ハピネス ライト	ハピネス コンパクト	コンフォート	ウィッシュ	スマイル
------	-------------	---------------	-------------	---------------	--------	-------	------



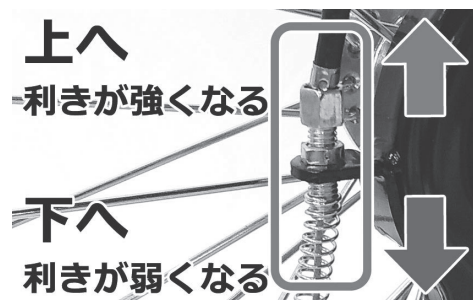
- ① ドラム式ブレーキの調整は丸部の部分で調整します。



- ② 調整用部品がありますので、まず下のナットをスパナでゆるめます。



- ③ 上のボルトをスパナで回して適切な位置に調整し、位置が決まったら下のナットをプレートで締めて固定してください。



ボルトが上へいくほど、ブレーキの利きが強くなります。ボルトが下へいくほど、ブレーキの利きが弱くなります。

⊘ 警告

- ご利用者を乗せたまま調整を行うことは、絶対にしないでください。
- 調整には適切な工具をご使用ください。
- 調整を行った際は、ブレーキが正常に作動するかしっかり確認して、ご使用ください。不適切な調整の場合、ブレーキが作動せず転倒などの事故につながる恐れがあります。
- 改善等がみられない場合には使用を中止し、販売店までご連絡ください。

⚠ 注意

- 調整を行う際は、タイヤやブレーキ等に指等をはさんでケガをしたりしないよう十分注意してください。
- 調整・メンテナンス等に不安がある場合や、ご自身で行うと危険がともなう場合などは専門家へ依頼してください。

各種車椅子の機能・取扱方法について

本書は、ケアテックジャパンの車椅子全商品共通の取扱説明書になります。

こちらでは、機種ごとに異なる装備や機能について記載しております。

ご購入いただきました機種をご確認の上、該当機種について関係する項目をお読みください。

ケアテックジャパン車椅子 全商品機種一覧

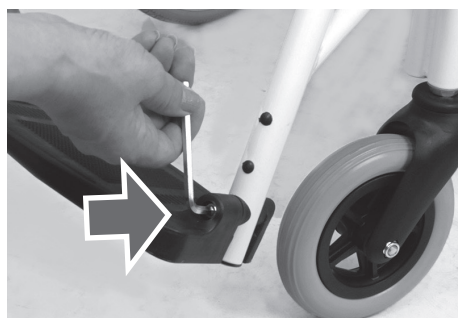
ハピネス	ハピネス ワイド	ハピネス プレミアム	ハピネス ライ	ハピネス コンパクト	コンフォート	ウィッシュ	スマイル
自走介助兼用式 CA-10SU 介助式 CA-21SU	自走介助兼用式 CA-15SU 介助式 CA-25SU	自走介助兼用式 CA-32SU 介助式 CA-42SU	自走介助兼用式 CA-12SU 介助式 CA-22SU	自走介助兼用式 CA-10SUC 介助式 CA-13SU	自走介助兼用式 CAH-50SU 介助式 CAH-20SU	自走式 CS-10 (介助ブレーキ無)	自走介助兼用式 CA-70SU 介助式 CA-80SU
▶ P.14	▶ P.14	▶ P.13 ~ 17	▶ P.14	▶ P.13 ~ 16	▶ P.13 ~ 19	▶ P.13	▶ P.13, P.19

※製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がございますので、お手元の車椅子とデザイン等が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

フットサポートの高さ調整について

該当機種

ハピネス	ハピネス ワイド	ハピネス プレミアム	ハピネス ライ	ハピネス コンパクト	コンフォート	ウィッシュ	スマイル
------	-------------	---------------	------------	---------------	--------	-------	------



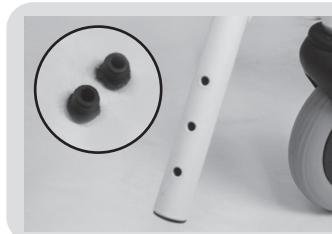
① 矢印の穴に六角レンチを差し込み、ネジを外します。ネジが長いので取り外しに多少時間がかかります。

② フットサポートを外した状態です。

③ 好みの高さの位置に①と逆の手順でフットサポートを取り付けます。



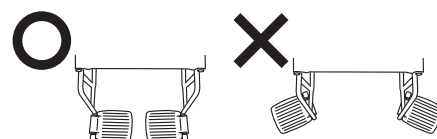
◀ 六角レンチ(同梱品)
背ポケットに入っています。



※ 脚部に黒いキャップが付いている場合、指で引っばると取り外せます。高さ調整後、空いた穴に再度はめてください。

警告

■ フットサポートは正しい位置で使用してください。外側へ向けるなど間違った位置で使用すると、走行中にキャストや周囲の物に干渉し、転倒などの思わぬ事故につながる可能性があります。



W(ウォッシュャブル)シート機能について

該当機種

ハピネス	ハピネス ワイド	ハピネス プレミアム	ハピネス ライト	ハピネス コンパクト	コンフォート	ウィッシュ	スマイル
------	-------------	---------------	-------------	---------------	--------	-------	------

背もたれ用シート・座面用
シートの取り外しができ、
交換が可能です。
手洗いして清潔に使うことが
できます。
面ファスナー式なので着脱も
簡単です。



※こちらはハピネス用シートです。機種により形状が異なりますので
それぞれのシートの上下などご確認の上、装着してください。



背もたれ用シート

- ◇上部に折り返し部分がある。
- ◇背折れ部に合わせたくびれがある。
- ◇ハピネスプレミアム・コンフォートは
反射テープが付いている。

<装着方法>

バックサポートにはりつけ、上部の折り返し部分を
後ろへ折り込み、装着します。



座面用シート

- ◇下部に折り返し部分がある。
- ◇ハピネスは上下に折り返し部分があるので、
それぞれ座面下へ折り込んでください。

<装着方法>

シートにはりつけ、折り返し部分を座面下へ
折り込み、装着します。



レッグサポート

取り付けることにより、足が後ろ
に落ちないように支えます。

<装着方法>

脚部に巻きつけて装着します。

警告

- シートの加工や改造を行わないでください。
安全性の低下、または強度や耐久性が低下し危険です。
- シート部分を火気に近づけないでください。火災の原因となります。

注意

- 機種専用のシートをお使いください。他機種には取り付けられません。
- 洗う場合は、ぬるま湯で手洗いしてください。洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。
- 熱湯やオゾンで洗浄しないでください。変質・変色の原因となります。
- 中性洗剤以外を使用しないでください。変質・変色・傷みの原因となります。
- 揮発洗剤（シンナー・クレゾール・ベンジン・アルコール類）は使用しないでください。変質・変色・劣化・傷みの原因となります。

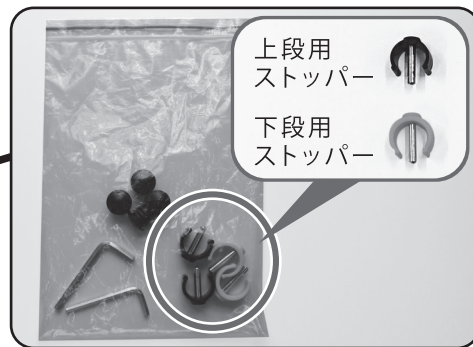
ハピネスコンパクト 脚部の取り付け方法

該当機種

ハピネス ~~ハピネスワイド~~ ~~ハピネスプレミアム~~ ~~ハピネスライト~~ **ハピネスコンパクト** ~~コンフォート~~ ~~ウィッシュ~~ ~~スマイル~~



▼背ポケット同梱品



① 同梱の脚部とストッパーを用意します。

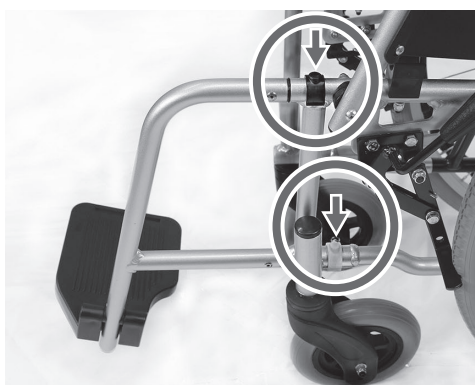
② ストッパーは背ポケットに入っています。上段用ストッパー（黒色）2つと下段用ストッパー（黄色）2つ、計4つあるか確認してください。



③ 脚部の着脱は車椅子をたたんだ状態で行います。安全のため駐車ブレーキをかけ、車椅子を固定します。

④ 左右を確認し、脚部を本体に差し込みます。脚部と本体にある穴の位置を揃えます。

⑤ 穴の位置が揃ったところに、ストッパーを上から差し込み固定します。



※ストッパーを差し込む箇所は上下2ヶ所、左右合わせて4ヶ所あります。確実に取り付けて固定してください。

警告

- 取り付けした脚部（フット・レッグサポート）が確実に固定されていることを確認してください。転倒などの思わぬ事故の恐れがあります。
- フットサポートは正しい位置で使用してください。間違った位置で使用すると走行中にキャストや周囲の物に干渉し、転倒などの思わぬ事故につながる可能性があります。

注意

- 指等をはさまないように注意してください。
- 取り付けの際は、車椅子本体が倒れたり動いたりしないよう、ブレーキをかけ注意して行ってください。

ハピネスコンパクト 足こぎでの使用方法について

該当機種



脚部を取り外して足こぎでの使用が可能です。ご利用者の身体状態に合わせてご利用ください。
足こぎで使用の際は必ず同梱品のフレームパイプキャップを取り付けてください。

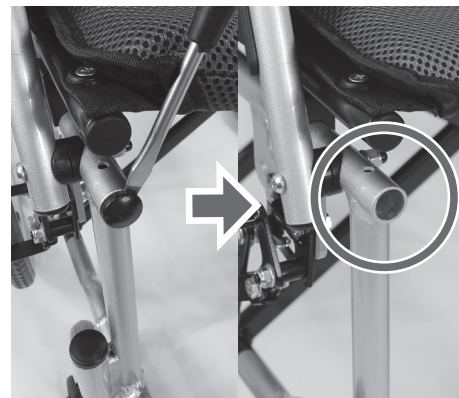
◎ フレームパイプキャップの着脱方法

▼ 取り外す。

▼ 背ポケット同梱品



フレームパイプキャップ



① フレームパイプキャップを用意してください。背ポケットに同梱されています。車椅子は脚部を取り外した状態で行います。

② 丸部にフレームパイプキャップをはめこみます。しっかりと押し込んで装着してください。装着する箇所は4ヶ所です。

③ フレームパイプキャップを取り外す際は、マイナスドライバーなどの工具をキャップとパイプの隙間に差し込んで取り外してください。

◎ 足こぎでの使用方法例



① 平坦な場所で駐車ブレーキをかけ、アームサポートを持ちゆっくり腰かけます。

② 駐車ブレーキを解除し、足を交互に前へ出すなどし、車椅子を操作します。身体状態に合わせて、無理のない範囲でご利用ください。



⊘ 警告

■ 車椅子を使用する際は、必ずフレームパイプキャップか脚部を装着した状態で使用してください。フレームパイプのふちでケガをする恐れがあります。

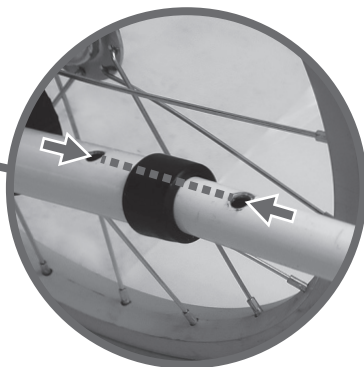
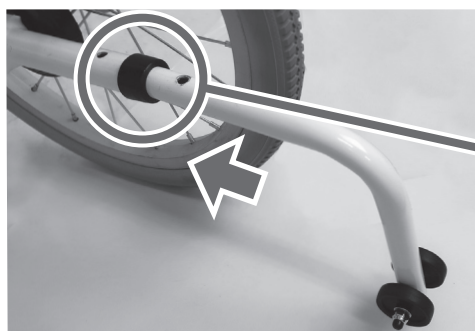
⚠ 注意

■ 室内で足こぎを使用する場合でも、かかとのある履物を履くことをおすすめします。
■ 足こぎで使用の際は、キャストや後輪に足を巻き込まれないように注意してください。
■ 走行する際はゆっくりとしたスピードでご利用ください。
■ 足こぎ利用の際は、介助者が急に後ろから手押しハンドルで操作しないでください。事故の恐れがあります。

転倒防止バーについて

該当機種

ハピネス	ハピネス	ハピネス	ハピネス	ハピネス	コンフォート	ウィッシュ	スマイル
ワイ	ド	プレミアム	ライ	ト			
				コンハクト			



◀ 矢印の穴の位置が揃うまで差し込みます。

① 転倒防止バーをティッピングレバーに差し込みます。



② 穴の位置が揃ったところに、ストッパーを差し込みます。



取り付けることにより後方への転倒のリスクを軽減できます。

⚠ 注意

- 該当機種のみ使用可能です。フレームの形状が異なるため他機種には装着できません。
- 取り付け・取り外しを行う際は必ず両輪の駐車ブレーキをかけてください。
- 常時接地させたり過度な負荷はかけないでください。
- ティッピングレバーを使用する場合・一時的に転倒防止バーが邪魔になる場合は、左右とも取り外してください。

介助ブレーキ手元駐車ロック機能について

該当機種

ハピネス	ハピネス	ハピネス	ハピネス	ハピネス	コンフォート	ウィッシュ	スマイル
ワイ	ド	プレミアム	ライ	ト			
				コンハクト			

介助ブレーキにロックをかけることができる機能です。

少しの間、車椅子をロックしたい場合に手元で操作できるのでしゃがむ必要がなく、腰への負担などを軽減します。しっかりと停車する必要がある場合は駐車ブレーキをかけてください。



介助ブレーキレバーを強く握り込むことによりロックがかかります。



ロックがかかった状態です。



丸部のパーツを、介助ブレーキレバーと一緒に握り込むことによりロックが解除されます。

※ 介助ブレーキレバーのみを握って、ロック解除を行うと、破損する恐れがあります。

肘掛け跳ねあげ機能について

該当機種

ハピネス ワイド プレミアム ライト コンパクト コンフォート ウィッシュ スマイル

アームサポートが跳ねあがるのでベッドやトイレの移乗がスムーズに行えます。
ご利用者や介助者の負担が軽減される、移乗の機会が多い場合などに便利な機能です。



①アームサポートの端にあるレバーを握ることによりロックが解除されます。

②アームサポートを上部に跳ねあげることができます。

③跳ねあげることにより、移乗がスムーズに行えます。
はめ込む際は、しっかりとロックしてください。

<p>警告</p>	<p>■乗車中はアームサポートがしっかりとめ込まれロックされていることを確認してください。 アームサポートが外れるなどの危険があります。</p>
<p>注意</p>	<p>■アームサポートに腕をのせたまま動かさないでください。 ■指等をはさまないように注意してください。 ■アームサポートは最後まで跳ね上げてから移乗してください。 身体や衣服に引っかかり、ケガをする恐れがあります。 ■アームサポートを持って車椅子を持ち上げないでください。破損や事故の原因になります。</p>

脚部スイングアウト機能について

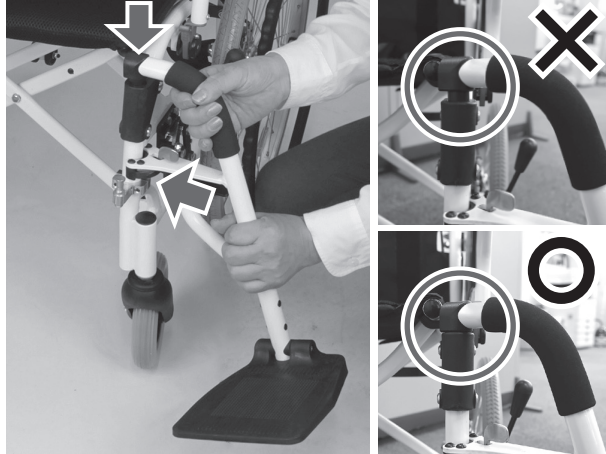
該当機種



脚部（フット・レッグサポート）を可動させる、また取り外すことができると、足元の可動域を広く取ることができます。ベッドやトイレの移乗時に脚部（フット・レッグサポート）が邪魔にならず、安全にスムーズな移乗ができます。移乗の機会が多い場合などに便利な機能です。



① 車椅子と同梱の脚部（フット・レッグサポート）を用意します。



② 脚部（フット・レッグサポート）を本体に差し込んだ後、すき間がなくなるまで上から押し込んでください。



③ ゆっくりとスライドし、正面に合わせ、ロックします。

<p>⊘ 警告</p>	<p>■ フットサポートは正しい位置で使用してください。外側へ向けるなど間違った位置で使用すると、走行中にキャストや周囲の物に干渉し、転倒などの思わぬ事故につながる可能性があります。</p> <p>■ 脚部（フット・レッグサポート）を正面に合わせロックした後、確実に固定されていることを確認してください。脚部（フット・レッグサポート）が回転し、転倒などの思わぬ事故につながる可能性があります。</p>	
<p>⚠ 注意</p>	<p>■ 指等をはさまないように注意してください。</p>	

脚部3段階調節機能について

該当機種



① 背ポケットに上図の部品が入っています。左右取り付けてください。取り付けに工具は必要ありません。



② ①の部品を上図のように脚部付近本体に差し込みます。ご利用者に応じて脚部の位置を3段階で調節することができます。



③ 3段階まで伸ばした状態です。

※ 部品は必ず装着してください。装着しないと脚部と本体が接触し車椅子が使用できません。

●領収書・納品書は発行してもらえますか？

二重発行防止のため基本的に発行しておりません。

各お支払い機関へのご利用明細書、お振込控え、代引金領収証、払込票兼受領証が正規の領収書となります。詳細につきましてはお買い上げ販売店のホームページをご確認ください。

●NP後払い（コンビニ後払い）請求書が商品の中に入っていない。

請求書は商品の中に同梱されておりません。

販売店によって請求書発行の方法が異なります。詳細につきましてはお買い上げ販売店のホームページをご確認ください。

①商品と別で郵送で紙の請求書が届く場合

商品とは別で請求書を郵送します。目安は商品到着後、約1週間です。請求書が届き次第、コンビニや郵便局、銀行などでお支払いください。

②メールでお支払い用の電子バーコードが届く場合

お支払い用の電子バーコード付きのメールが届きます。電子バーコード支払いの場合は、紙の請求書は届きません。詳細につきましては電子バーコード付きのメールやお買い上げ販売店のホームページをご確認ください。

●保証書に販売店の捺印がないが保証書としてつかえますか？

ご使用いただけます。保証書への捺印は行っておりませんが、お客様のご注文情報や出荷日は販売店にて確認することができますので、故障や不具合等が起こった場合、お買い上げ頂きました販売店までご連絡ください。

●購入した商品が必要なくなった。返品・交換はできますか？

サイズ違い、イメージ違いなどの良品にも関わらずお客様のご都合での返品・交換、また弊社で良品の範疇である商品の返品に関してはお断りさせて頂いております。

詳細につきましてはお買い上げ販売店のホームページをご確認頂き、販売店までお問い合わせください。

●部品は取扱がありますか？

部品販売を行っている販売店にて承っております。販売できない部品もございますので予めご了承ください。

お買い上げ頂きました販売店か下記販売店をご確認いただき、ご購入された際の注文番号・お名前・お電話番号を明記の上、お求めの部品をお問い合わせください。お見積りさせていただきます。スムーズな手配のためにも、部品につきましては出来るだけ詳しくご連絡くださいますよう、お願いいたします。

●お届けした商品に不備や破損があった場合は？

お届けした商品に万一、破損・汚損などの初期不良がございましたら大変お手数お掛け致しますが、商品到着後7日以内にお買い上げ頂きました販売店までご連絡ください。すぐにご対応させていただきます。交換商品が欠品の場合は返金対応等とさせていただきます。

※破損・汚損などの不良箇所をお客様自身で修理等された場合、交換不可となる場合がございます。不良箇所を発見次第、ご自身で修理はせずに至急販売店までご連絡ください。また、修理費用等のご返金は致しかねますので、予めご了承ください。

商品到着後7日を過ぎて不良が発生した場合は、お手数ですが具体的な不良内容、不良が出た際の使用状況、不良が出た箇所の写真を撮影の上、ご購入された際の注文番号・お名前・お電話番号をご明記頂き、お買い上げ頂きました販売店までお問い合わせください。

その他のお問い合わせ、アフターサービス等のご連絡は販売店までお願いいたします

介護用品卸センター

介護用品卸センター

介護用品専門の卸価格販売



info@hukusi-orosi.jp

【楽天店】 rakuten@hukusi-orosi.jp

車椅子とシルバーカーのお店YUA



info@yua-shop.jp

ジャパンネットモール

JAPAN NET MALL



jpntml@kca.biglobe.ne.jp

保証基準

保証期間

ご購入日より1年間です（本体・付属品共）
ただし、消耗品等は保証の適用除外となります。

保証期間後

保証期間後はお買上げの販売店にご相談ください。

保証の適用除外となる場合

- (1) ご使用による消耗およびお取扱の不注意による破損
例) タイヤの摩耗、各部ベアリング、ワイヤー、シート、フットサポートの破損等
- (2) 地震、台風、水害等の天災および事故、火災による焼失・破損
- (3) お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失等誤って使用された事による破損
- (4) 保全上の不備、また弊社および販売店以外で行った修理や改造等による破損
- (5) 弊社および販売店が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損
- (6) 一般に車椅子が走行しない場所、または特殊な状態での使用による破損
- (7) 製品本来の使用目的にそぐわない使用による故障および破損
- (8) 取扱説明書に従わずに使用して生じた故障および破損
- (9) 取扱説明書に禁じられている使用方法によって生じた故障
- (10) 日本国外でご使用の場合

ご注意

- (1) 保証書の再発行は致しませんので大切に保管してください。
- (2) 一度でも使用した商品は原則としてお取り替えはできません。

修理・お手入れ・お取扱い等のご相談は、
まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

製品保証書

品名	車椅子
品番	
保証期間	ご購入日より1年間
お買上げ日	年 月 日
お住所	
お名前	



**Care-Tec
Japan**

＜販売元＞
株式会社 ネクストケア・イノベーション
〒806-0041
福岡県北九州市八幡西区皇后崎町10番3号